

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育実習指導 I (施設) ナンバリング：2704	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名： 高橋努、浅野瞳 担当形態：クラス分け
系 列	保育実習		
教科目	保育実習指導 I		
授業の到達目標及びテーマ 1. 児童福祉施設等における保育士の役割や、仕事の内容を理解できる。 2. 現代の子どもたちが抱える虐待の問題や、施設で生活する子どもたちの実情を理解できる。 3. 子どもの権利、障害児の実情などを知り、理解を深めることができる。			
授業の概要 児童福祉施設等における実習の意義や目的・内容の理解を深め、自らの実習における課題、利用者の人権と最善の利益、プライバシー保護や守秘義務について理解する。また、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、事後指導等にて実習の総括と自己評価を行い、今後の実習に向けた課題、目標を明確にする。			
授業計画 第1回：オリエンテーション(実習の心得、マナー、実習先の確認等) 第2回：児童福祉施設について(振返り)(1) 第3回：児童福祉施設について(振返り)(2) 第4回：実習目標の考え方と実習生調書の書き方(1) 第5回：実習目標の考え方と実習生調書の書き方(2) 第6回：実習課題の考え方と作成 第7回：実習課題と実習計画について(1) 第8回：実習課題と実習計画について(2) 第9回：外部講師(施設職員)による出張セミナー(青嵐荘療育園) 第10回：実習日誌について(1) 第11回：実習日誌について(2) 第12回：ボランティア、実習先オリエンテーションについて 第13回：活動案の考え方(5領域との関連について)活動案の作成 第14回：活動案の作成 第15回：お礼状の書き方 定期試験：レポート		授業時間外の学習 保育実習 I (施設) がスムーズに実施できるよう、以下の学習が必要となる。 1. 配属先の施設に関する情報を集める(1時間) 2. 配属先の利用者や児童についての情報を集め、理解を深める(2時間) 3. 文献資料等を参考に、児童福祉施設の歴史的背景等についても学習をする(2時間) これら調べ学習が必須であり、図書館などを活用し率先して学習すること。	
授業の方法 児童福祉法にある児童福祉施設(保育所を除く)及び障害者施設等での実習にあたっての事前準備を行なう。講義を中心に調べ学習等を織り交ぜて行う。フィードバックについては提出物に対してコメントを記入する。			
テキスト 『施設実習ガイド-保育者として成長するための事前事後指導学習-』駒井美智子編著 萌文書林			
参考書・参考資料等 ・授業内で適宜プリント等配布する(実習チェックリスト、施設パンフレット等)。 ・配布物チェックリストをもとに、事前準備等を行う。			
学生に対する評価 (提出課題については、ルーブリック評価を活用する) 授業の中間で行う筆記テスト(50%)、提出課題(50%)			
履修上の注意 ・ 保育実習 I (施設) も必ず履修すること。 ・課題の提出等、期限を必ず守ること。 ・施設実習は学生が自ら考え行動することで、体験から学びとってゆくプロセスが重要である。それぞれが問題意識をしっかりと持ち、積極的・主体的に準備を進めること。 ・履修登録時、記載漏れが多いので、チェックを忘れずに行うこと。 ・ 副読本として、本学の『実習の手引き』を使用する。 ・10日間の実習を通して、施設保育士の役割をきちんと理解し、保育士としての専門性を見つけられるよう、事前学習、事前準備をしっかりと行い、実習課題を明確にすること。			
実務経験の有無	有	実務経験	高橋・浅野：施設勤務(社会福祉士)
実務経験を活かした教育内容 施設での実習生指導の経験を活かし、実習日誌の記入方法や実習目標の考え方などを説明。実習先の種別に合わせた目標設定ができるよう授業を行う。			